

# 時代の変化に対応する警察活動推進体制の整備

安全な暮らしの実現には、治安維持対策は必須。国民一人一人が豊かに暮らせる環境を築くためにも、常に変化する時代に対応する警察活動推進体制を支援されたい。

【提案・要望先】総務省、警察庁、国家公安委員会

## 1. 提案・要望内容

### 本県の治安情勢に的確に対応するために必要な警察官の増員

- 県民の安全と安心を確保するためにも、警察官の増員措置が必要不可欠

## 2. 提案・要望の理由

### ○ 緊急に対処すべき課題が山積

- (1) 人身安全関連事案に対応するための体制構築が早急に必要

ストーカーやDV、児童虐待事案は年々増加傾向にあり、人命を脅かすおそれがあることから、人身安全関連事案への対応は、慎重な判断と適切な対応が必要。

- (2) 高齢者が当事者となる事故率の上昇

交通事故件数は減少するも、高齢者が事故当事者となる割合は年々増加。

- (3) 高止まりする特殊詐欺の被害額

特殊詐欺の被害金額は高止まり傾向にあり、高齢者に与える不安は多大。

- (4) 長期に亘る大規模な警衛対策

皇族来県による大規模な警衛が複数回控えており、長期間に亘り、連続して準備体制を構築する必要があるところ、体制構築による通常業務への人員不足は、治安維持活動への影響が深刻。

### ○ 県民1人あたりの警察官の高負担率

当県警察の警察官1人あたりの負担人口は622人（全国ワースト3位）であり、「警察刷新に関する緊急提言（H12）」における基準（警察官1人あたりの負担人口500人程度）までは、警察官558人の増員が必要。

### ○ 増加傾向にある人口

滋賀県は全国的に数少ない人口増加傾向にある8都府県中7番目の人口増加率。

（住民基本台帳・都道府県別人口動態・R2. 1. 1）

### ○ 県民の強い要望と極めて高い関心

毎年、各市町から警察官の増員要望がなされ、県議会の場でも警察官増員に関する一般質問が行われるなど、県民の警察官増員に関するニーズは極めて高い。

# (本県の取組状況と課題)

## ○ 本県における警察活動推進のための取組

- ・ 運転免許課の体制を強化し、これまで平日は受理出来ていなかった運転免許証の自主返納に関する体制を強化
- ・ 県内すべての児童相談所に現役警察官が出向し、各機関との連携を強化
- ・ 特殊詐欺事件多発時には、知事部局と連携して犯罪多発注意報を発令するなど積極的な注意喚起を実施
- ・ 県の地勢等から被留置人の集中護送が困難であったところ、試行実施を重ね、平成30年度から繁忙な湖南地域の警察署に限った集中護送を本格化し、護送に係る警察署の負担を軽減
- ・ 事務的な業務に従事していた警察官ポストに一般職員を増員配置することで、実質的な警察官の増員効果を実現



## これらの取組だけでは根本的な解決は困難

## ○ 警察活動推進体制強化における課題

時代の変化に伴う本県の新たな課題への根本的な対応が必要

### 【人身安全関連事案の受理件数の増加】

ストーカー・DV等相談受理件数の年間推移		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
STDV	新規	1,535	1,348	1,509	1,877	2,008	2,147	2,177	2,148
	その他	2,231	1,500	1,714	2,577	2,654	2,950	2,785	2,874
受理件数	合計	3,766	2,848	3,223	4,454	4,662	5,097	4,962	5,022
	警察官条例定員	2,243人	2,243人	2,256人	2,269人	2,282人	2,282人	2,282人	2,282人
	負担率 (受理件数/定員)	1.68	1.27	1.43	1.96	2.04	2.23	2.17	2.20

  

児童虐待通告人員の年間推移		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
児童虐待通告人員		58人	188人	148人	663人	839人	1,065人	1,229人	1,175人
警察官条例定員		2,243人	2,243人	2,256人	2,269人	2,282人	2,282人	2,282人	2,282人
	負担率 (通告件数/定員)	0.03	0.08	0.07	0.29	0.37	0.47	0.54	0.51

### 【高齢者事故率の上昇】

※県内の交通事故自体は年々減少するも、高齢者(65歳以上)が当事者となる事故割合は年々増

発生年	発生件数	事故割合	高齢者事故(65歳以上)
H19	9,626	21.4%	2,056
H20	9,027	21.8%	1,965
H21	8,849	22.8%	2,016
H22	9,023	23.6%	2,128
H23	8,383	23.0%	1,929
H24	8,071	22.8%	1,840
H25	7,836	25.0%	1,961
H26	6,598	25.3%	1,671
H27	5,879	25.9%	1,525
H28	5,294	27.8%	1,470
H29	4,876	28.4%	1,383
H30	4,212	28.9%	1,217
R1	3,647	31.0%	1,130
R2	2,893	31.6%	914

### 【増加傾向にある人口】

順位	都道府県	人口増減率 (R2.1.1)
1	東京	0.69
2	沖縄	0.36
3	神奈川	0.22
4	埼玉	0.17
5	千葉	0.14
6	愛知	0.14
7	滋賀	0.06
8	大阪	0.01
	全国平均	-0.59

令和元年中、全国で人口が増加した都道府県は、8都府県のみで、滋賀県は7番目。  
(住民基本台帳・都道府県別人口動態・R2.1.1)

ストーカーやDV等の相談件数、児童虐待の通告人員といった人身安全関連事案に関連する件数は、年々増加傾向。

### 【高止まりする特殊詐欺の被害額】

年	件数	特殊詐欺被害額
H23	60	1億9367万2000円
H24	85	3億2569万0000円
H25	133	5億4329万8000円
H26	121	5億6662万5000円
H27	114	4億4103万9000円
H28	141	2億4596万7000円
H29	161	4億9361万2000円
H30	115	3億0227万0000円
R1	144	3億4901万0000円
R2	88	1億5109万2950円

※過去10年間の年間平均被害額は**3億6,122万7,595円**

### 【予定されている大規模な警衛対策】

- ①令和4年：第72回全国植樹祭しが2022  
→天皇陛下御来県予定
- ②令和7年：第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
全国高等学校総合体育大会(滋賀開催)  
→天皇陛下ほか多数の皇族が御来県予定

### 【県民1人あたりの警察官が少ない】

県名	人口	警察官 条例定員	人口 負担率
1 埼玉	7,390,054	11,524	641.3
2 千葉	6,319,772	10,100	625.7
3 滋賀	1,420,848	2,282	622.7
4 宮城	2,292,385	3,766	608.7

「警察刷新に関する緊急提言」(H12)において、“警察官1人あたりの負担人口が500人となる程度まで地方警察官の増員を行う必要がある”と言及

※負担人口500人までには、**558人の増員**が必要  
担当：警察本部 警務部 警務課 企画係  
TEL 077-522-1231

**これら課題を解決するためには、警察官の増員が必要不可欠**